

# 第6回臨時議会

## うらかわ支援のふるさと納税で 自主財源が増額に

平成28年11月1日からの2日間、浦河町議会臨時会が開かれました。  
この議会では、水道事業を除く平成27年のすべての会計の決算について審議し、提案どおり認定されました。

**2億円を超える  
黒字に**

冒頭の町長の行政報告では、8月から9月に相次いだ台風の被害についての報告があり、被災件数301件、金額にして2億638万円という事です。

平成27年度は浦河町制施行100周年という節目に当たる年となりました。

この年の当初予算は、水道事業を除く全会計で125億425万円、その後ふるさと浦河応援寄附金事業、地方創生加速化交付金事業などの補正や前年度からの繰越事業などを加えて、最終

予算は135億1375万円となっています。

この中で行われた主な事業は、介護予防センターにスプリングラーの設置事業、堺町川沿団地建替事業、イチゴ栽培用ハウス整備、昆布保管施設の整備補助（荻伏地区）、町道改良事業、学校耐震化事業（荻伏中学校）、町制施行100周年記念関連事業などです。

その結果、全会計で収入総額は133億1828万円となり、支出との差し引きで2億1167万円の黒字となりました。赤字となった会計はありません。

せんでした。

平成27年度のふるさと納税額は、全体で2万2883件、3億6654万円となり、これにより自主財源が前年度から5.9ポイント増の32.2%となりました。

自主財源が増えることは、行政の仕事を進める上で有意義なことです。

一般会計に係る剰余金のうち、1億8700万円を積立金とし、残りは翌年度へ繰り越して決算を終了しています。

### 未収入額への対策を 監査委員より

町税や税外収入において、未収入額が多額になっている。この解決を図り、財源の確保に努めるようにと指摘されています。

一般会計の未収入額は、前年に比較して1049万円、3.8%増えています。一方で、不納欠損は減っていますから、税に対する考え方の指導などを徹底し、納税

に協力してもらう体制の一層の強化が必要です。

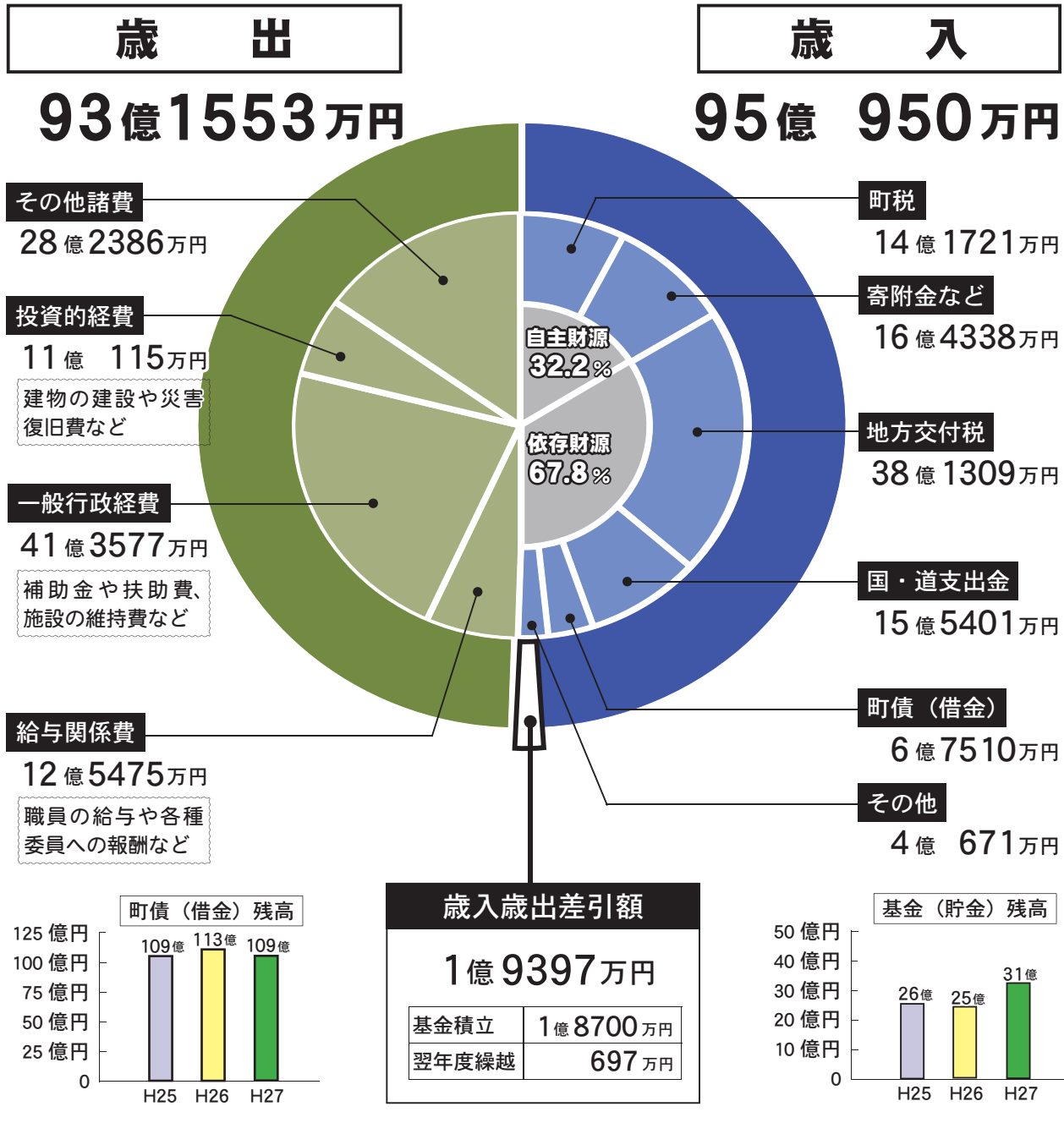
あわせて、その財源をどう活用していくのか。町民の求める施策に生かし、仕事のあり方も含め町民に寄り添った財政運営が求められていると指摘しています。

国の経済対策や財政構造改革などを見据え、安定した財政運営に全力を尽くすことが期待される。



▲ふるさと納税の人気特産品

### 一般会計決算額



### ▼ 特別会計決算額

会計名	歳入	歳出	差引額（残額）
国民健康保険事業	18億 9766万円	18億 9490万円	276万円
後期高齢者医療	1億 4995万円	1億 4984万円	11万円
介護保険事業	11億 3871万円	11億 2399万円	1472万円
臨海部土地造成事業	12万円	12万円	0万円
下水道事業	6億 677万円	6億 667万円	10万円
簡易水道事業	1557万円	1555万円	2万円
合計	38億 878万円	37億 9107万円	1771万円